



平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【村田町】

1 実践テーマ	【I・V】
2 実施対象者	村田町立村田小学校 全学年 368名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 学級活動 )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>(1) 村田町出身のオリンピック選手の体験談を聞くことを通して、スポーツの意義や取り組み方を知るとともに、オリンピックへの興味を高める。</p> <p>(2) スケルトン競技について知る。</p>
5 取組内容	<p>(1) 講話「オリンピックを通して～スケルトンから学ぶ～」</p> <p>◆講 師：仙台大学 客員研究員 小室 希 氏 (女子スケルトン日本代表オリンピック選手)</p> <p>◆参加対象：全児童参加</p> <p>スケルトン競技との出会いから、オリンピック出場を果たすまでの苦労や努力について、実際に使用した道具や映像を見せながら、講話をいただいた。実体験を通して学んだ「失敗を失敗のままで終わらせない強さ」「どんなにつらくても一歩前に入る勇氣」などの言葉は、子供たちに、挑戦すること、諦めず努力することの大切さを強く実感させるものであった。</p> <p>また、ソチオリンピックに出場した際のユニフォームやヘルメットなどを展示するコーナーを設置し、実際に手を触れたり、小室選手と会話をしたりすることができ、大いに盛り上がった。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【小室選手と会話する児童】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【ヘルメットをかぶってみる児童】</p> </div> </div>

	<p>(2) 体験「スケルトン体験」 ◆参加対象：6学年（58名）</p> <p>6年生児童は、練習用のスケルトンの板に乗る体験をした。最初は、先生に押ししてもらって乗り方のコツをつかみ、その後一人でスピードを調整しながら乗る体験をした。まっすぐに進むこと、ちょうどよいスピードに調節することなどの難しさを実感しながら、上手な友達や小室選手の乗り方を参考に、全員が挑戦した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>【先生に押しってもらう児童】</span> <span>【一人乗りに挑戦する児童】</span> </p> <p>(3) その他 スケルトン競技は、児童にとって初めての競技であり、驚きと感動が大きかった。この思いを一過性のものにせず、さらに高めるために、様々なスポーツの魅力を知る機会として、オリンピック・パラリンピックに関する書籍を購入した。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>○小室選手の講話には、オリンピックの歴史に触れた内容の話もあり、東京オリンピック・パラリンピックへの期待感が高まった。</p> <p>○児童は、氷の上をものすごいスピードで滑走する小室選手の姿を想像し、スケルトン競技の魅力とオリンピック選手のすごさを実感することができた。</p> <p>○書籍を購入し、図書室にコーナーを設けたところ、スケルトン競技以外の新たなスポーツや外国の文化に興味を抱く児童が増えた。家庭での自主勉強において、こうしたスポーツの特徴や魅力を紹介する内容に取り組む児童も見られた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○村田出身のオリンピック選手を迎える気持ちを子供たちに促す会場設営（ようこそ先輩の横看板・児童手作りの万国旗・東京オリンピック・パラリンピックマスコットの掲示）をした。児童も歓迎と感謝の気持ちを持つことができた。</p> 
<p>8主な課題等</p>	<p>○スポーツへの興味・関心は高まったが、新たなスポーツに挑戦しようという気持ちを醸成するまでには至っていない。新たなスポーツの魅力や楽しさを味わわせるためには、気軽に挑戦でき、児童一人一人に十分な体験活動を積ませる場の設定が必要である。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックへの期待感を高め、運動能力の向上に向け、次年度もトップアスリートの動きを実際に見て、一緒に体験できる場を設けていきたい。</p>